

5つの重点パッケージ

86億1,059万円

1 医療・救急強化

15億421万円

■いわき駅直結・医療施設整備事業（6億7,265万円）

いわき駅北口開発に伴い移転する「松村総合病院」の医療施設整備を支援

■救急患者受入強化支援事業（6,967万円）

市内4つの救急告示病院に運営体制強化の経費の一部を補助



2 雇用・産業強化

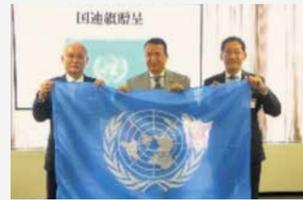
10億8,689万円

■地域産業競争力強化支援事業（4,350万円）

新たな製品や技術開発などに挑戦する市内企業に対し、段階に応じた支援を実施

■国連と連携したグローバル人材育成事業（1,317万円）

CIFALジャパン国際研修センターを開設し、地域リーダーを育成



3 防災・自治体強化

14億4,409万円

■AI水位予測システム事業（4,822万円）

河川洪水情報の迅速な収集・分析による的確かつ迅速な避難指示発令を支援

■自治会応援・地域防災力強化関連事業（2,705万円）

地域づくり活動やITツールを活用した自治会などの活動を支援



4 教育・子育て充実

34億6,830万円

■学校給食費中学生無償化事業（4億2,154万円）

本年4月から中学校給食費を完全無償化

■多世代で集えるインクルーシブ広場整備事業（3,106万円）

平南白土地域振興事業の一環として、多様な世代が集い、楽しめる広場を整備



5 まちの魅力創出

11億710万円

■観光力強化3Cプロジェクト（2億4,038万円）

ふくしまDC、ナショナルサイクルルート、いわきFCを柱とした観光戦略を展開

■公共交通空白地域解消等プロジェクト（1億1,362万円）

公共交通におけるネットワーク構築や地域のニーズに沿った公共交通の導入



令和7年度

当初予算

“Well-Being”なまちづくりの実現に向けて

～コロナ・災害を乗り越え、新たなステージに向けた予算を編成～

総額

3,263億8,209万円

対前年度
+124億9,910万円、+4.0%

一般会計

1,508億3,788万円

(対前年度:+62億260万円、+4.3%)

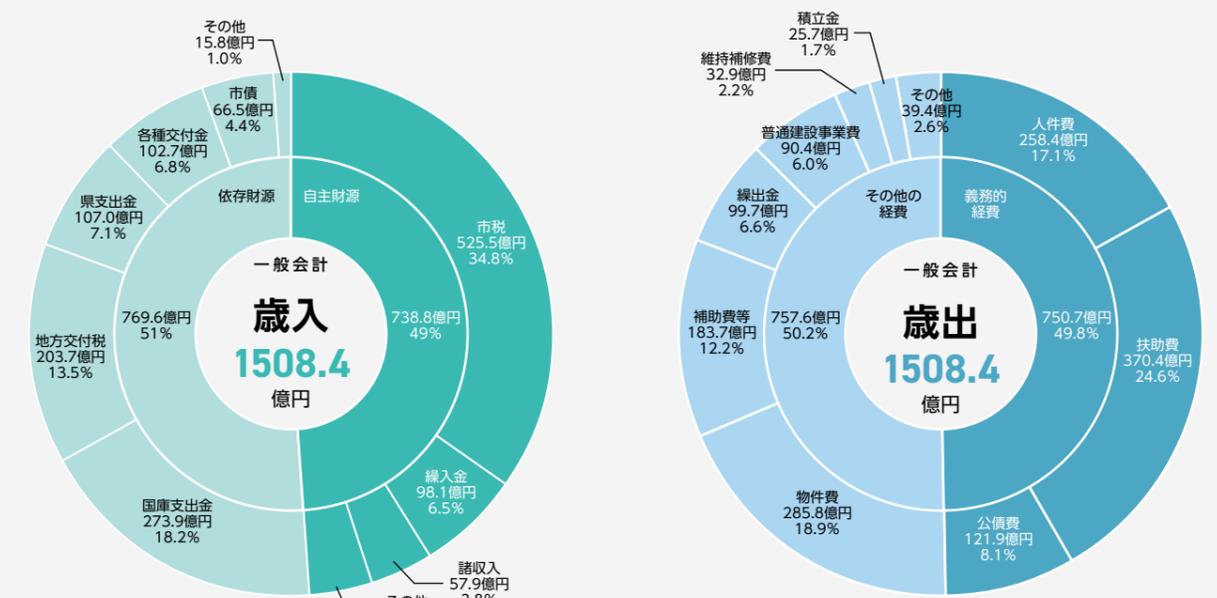
特別会計・企業会計

1,755億4,421万円

(対前年度:+62億9,650万円、+3.7%)

一般会計予算

1,508億3,788万円



※科目ごとに四捨五入しているため、積み上げと合計が一致しない場合があります

二刀流予算
いわき市長
内田 広之

令和7年度予算は、市民の幸福と社会課題解決を同時に目指す「二刀流予算」です。

重点は、①医療・救急、②雇用・産業、③防災・自治体強化、④教育・子育て、⑤まちの魅力の分野で、①～⑤を支える人づくりも注力します。

特に、保護者から声が多い、中学校給食費無償化（小学校は令和8年度実施を目指す）、小中学校の特別教室エアコン整備、トイレ洋式化も進めます。

医療は、いわき駅直結・医療施設整備への支援、医学生へ新たな修学資金貸与制度創設、診療所新設などへ支援を進めます。

若者・女性定着のために、市内に設置した国連と連携した研修センターの運営支援、企業の創業・製品化等への支援、企業用地確保などへの調査も進めます。

詳しくは、市ホームページで

